

## 第26回海洋深層水利用学会全国大会開催報告

海洋深層水利用学会全国大会研究発表企画委員長  
清水 勝公

2022年度第26回海洋深層水利用学会全国大会が10月26日(水)に開催されましたことを報告します。

本年度の大会も昨年度と同様に新型コロナウイルス感染拡大を防止する目的から、Web会議システムを利用しての開催となり、3ヶ年続けての皆様方と対面できない大会となりました。

研究発表者数に関しましては一般研究発表が15題、利用促進委員会より“海洋深層水の利活用商品の現状2022”と題してのポスター発表1題、加えて学習推進委員会よりの特別発表としまして“委員会活動紹介”の計17題の投稿発表がされました。また、海外からの投稿発表につきましては韓国から1題のご発表がありました。

参加申込者状況に関しましては会員:61名、非会員:8名、全69名からの申込がありました。一方、当日の参加者数に関しましては会員:55名、非会員:4名、内海外:3名(韓国:2名+台湾:1名)でした。

一般研究発表の内容に関しましては“エネルギー関連、水産養殖関連、環境関連、資源保持関連、微生物関連、食品利用関連”等のテーマに加え、取水施設の維持・保持に関する発表も1題がありました。

研究発表の持ち時間については質疑のための時間も含め「15分/題」で行い、全体的にはスムーズに行われたものと思われました。

また、使用したWebシステムについては弊会事務局(佐賀大学)のシステムを流用し、操作も含めてご協力いただき、感謝の一語に尽きる次第です。本紙面をお借りしましてお礼させていただきます。